

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2014年 No.319

発行：埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

Tel.048-296-4771

Fax.048-296-7182

ホームページ：<http://www.kyoudou-hp.com>

5

新入職員を迎えました



2014年度、新たに入職した職員は、医師3名・保健師13名・助産師3名・看護師16名・薬剤師1名・診療放射線技師2名・理学療法士5名・作業療法士3名・社会福祉士2名・事務総合職5名の合計53名です。どうぞよろしくお願ひします。

患者様からも ご指導いただいて

(医師) ^ら 羅 ^{しょうしょう} 晶晶

初めまして。研修医の羅晶晶です。

両親ともに中国出身で、私自身も中国洛陽市で生まれました。小学校2年時に日本に渡り、県内に在住しております。中高、大学は都内の学校でしたので、医療生協さいたまは大学5年時まで知りませんでした。5年時に当院で実習をし、先生方をはじめ、多くのスタッフの方々に温かく迎えられました。そんな雰囲気にも一目惚れし、入職を決意しました。入職後、医療生協さいたまは地域住民の方々によって支えられている医療組織であることを知り、感銘を受けております。私自身、将来は地域医療、家庭医療に関わりたいと思っていますので、ここで組合員の皆様をはじめ、さまざまな方々からご指導をいただいて、成長出来たらと思っています。

初期研修を 開始するにあたり

(医師) ^{いしかわ} 石川 ^{こうじ} 浩二

このたび4月から当院に初期研修医として入職することになりました石川と申します。これまで医療生協さいたまについて知る機会はなかったのですが、埼玉県医師不足などこれからの日本の医療については考えさせられることはありました。

近年、医療で求められる水準は厳格化・高度化・細分化が急速に進行しています。初期研修を始めるにあたり、新時代に入ったという認識で臨んでいきたいと思ひます。

一方、地域に根差した医療も強く求められています。地域住民の皆様と連携しつつ、患者様と病院の良好な関係を築く一翼を担うことができたいと思ひます。

今後とも医師としてがんばっていききたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

耳鼻咽喉科からの お知らせ

5月より、水曜日・木曜日の受付時間を通常受付時間（午前8時10分～11時20分）に変更いたします。



着任の挨拶

膵石症の治療数は日本でトップ！ これからも肝・胆・膵系疾患の 治療に力を注いでいきます



内科診療部長
辻 忠男

4月1日に当院内科に着任しましたと申します。3月31日まではさいたま市立病院におりました。出身は高橋市、昭和53年群馬大学卒業。専門は肝胆膵の超音波診断、内視鏡治療です。最近では胆道結石や膵石のESWL（体外衝撃波結石破砕術）や内視鏡治療を中心に診療しており、膵石症の治療数は当院着任後の第1例目を含

め、この22年間で505例と本邦でトップ、世界3位です。今後は福本内科部長のもと当院の消化器内科、特に肝胆膵系の診断と治療に力を注いでいきたいと考えております。さて当院の増田院長、石津先生、忍先生、高橋きよ子先生は古くからの親しい友人で、研究会でご一緒してきました。今回その縁もあっ

て入職させていただきました。今後も諸先生と一緒に日々の診療の中で、また国内・国外の学会に出席し、若い先生方に交じり勉強していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

シリーズ 医療の質の改善① 救急病院としての役割を果たすために

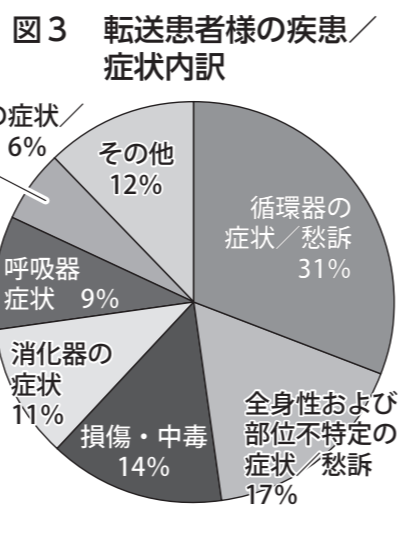
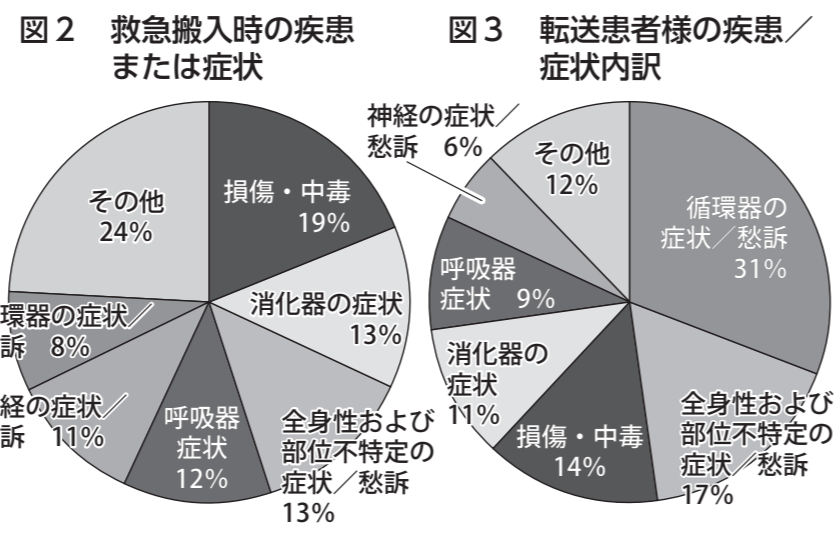
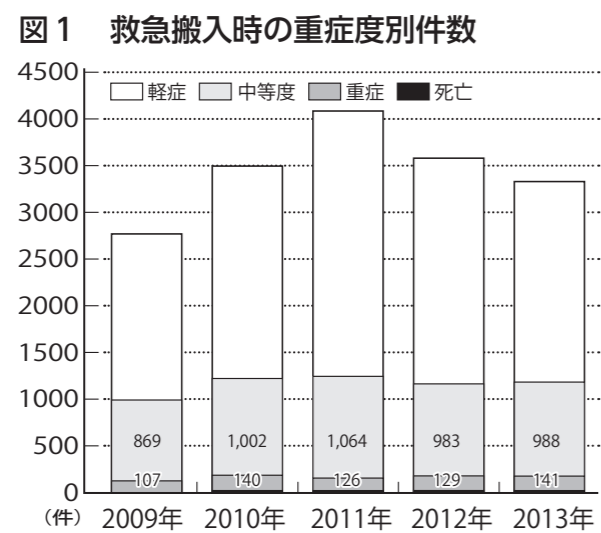
当院では、医療の質を定量的に測るための指標を300以上設定し、継続的な改善を図っています。今回は、救急医療の質についてです。

2013年の年間救急車受け入れ件数は3331件でした。川口市は、人口58万5千人、13の救急告示病院で救急患者様の受け入れに対応していますが、当院の搬入件数は川口市内から3分の2にあたる約2273件、さいたま市から915件、その他近隣の自治体からの搬入もあります。猛暑・酷暑の続いた2011年には4000件を超える救急車を受け入れましたが、その後も3000件を超える搬入となっています(図1)。重症度を見ると2013年は中等症以上(入院治療を必要とする程度以上)が35%で、これは搬入件数が最高だった2011年と比べてもほぼ同じくらいの件数となっています。

9%、熱中症7%、薬物中毒や過量服用6%、その他食物アレルギー、誤飲、有害物質による害、熱傷などです。全体の8割は病気であり、救急搬入時には診断が確定しないことも多いのですが、その場合は救命処置を行いつつ、診断のための諸検査等を進めることになります。要請に応えられなかったケースの3割が救急患者様・他の重症患者様の対応中、3割はベッドが満床、当該科の手術や処置などで対応困難なケースを含めると全体の4分の3を占めています。2012年7月から、特定集中治療室(ICU)を設置して重症患者様の対応を強化してきましたが、まだまだ要請に応えられていない現状です。

脳・心血管系の疾患では、発症から数時間の

処置が予後を左右するため、現在の当院の診療体制の状況では、CTやMRIによる速やかな鑑別診断を行い、医師同乗のうえ、近隣の救急病院に転送することになります。中等症以上の患者様のうち、7%は当院での初期対応のうち、高度の緊急専門的処置ができる病院への転送例です。その内訳は、脳出血・くも膜下出血、急性心筋梗塞など脳心血管系の疾患が3割を占め(図3)、近隣の救急病院との連携で対応しており、最初から専門科での対応をお願いするケースはその3倍ほどあります。できるだけ、当院で治療継続できるように、専門的医療診療体制を整えることが大きな課題となっています。



搬入時の症状をみてみると(図2)、損傷・中毒が19%と最も多く、次いで消化器の疾患、全身性または部位が特定できない疾患・症状、呼吸器疾患と続きます。損傷・中毒の内訳をみると骨折・切傷などのけがが70%、急性アルコール中毒や飲酒状態でのけが

埼玉協同病院の 関連施設のご紹介 5 生協歯科



生協歯科は東浦和駅より徒歩15分の距離にあります。歯科用治療椅子は手術室の1台を含めて24台を装備し、研修医を含む9名の歯科医師と13名の歯科衛生士で治療にあたっています。一般歯科・小児歯科・矯正歯科を標榜しており、インプラントなどの自費診療も手がけ、幅広い医療活動を展開しています。

また、高齢の方やお体が不自由で通院が困難な方のために訪問歯科診療も行っております。埼玉協同病院とは、病棟への往診や手術の前後の歯科治療などで連携をしています。口の健康は全身の健康と密接に関わっており、健康維持のためには、歯科への定期通院がとても重要です。「痛くなる前に」を合言葉に日常的な歯科保健活動にも力をいれておりますので、お気軽にご相談ください。 所長：渡邊 正巳



診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 13:00~16:30	○	○	—	○	○	○	—
夜間 17:00~20:30	○	○	—	○	○	—	—

【診療科】 歯科、矯正歯科、小児歯科
※矯正歯科は木曜夜間と第2・4土曜
【休診日】 日・祝祭日

消費税増税では 社会保障が充実しません!

病院内社保平和自治体委員会 松本 浩一

4月より消費税が8%に増税されました。消費税増税分は社会保障の財源に使われると報道されていますが、実際はどうなるのでしょうか。今後の社会保障に関わる制度改定の内容について紹介します。

- 医療保険関連(2014年度4月～)
 - 70歳～74歳の医療費自己負担が1割から2割へ引き上げ。
 - ※2014年4月2日以降70歳になる方から
 - 後期高齢者医療保険(75歳以上)の保険料が増額。
- 介護保険関連(2015年度中)
 - 一定所得以上(金額については現在検討中)の負担割合が1割から2割へ引き上げられる。
 - 特別養護老人ホームの入所対象者を要介護3以上に縮小し、要介護1、2の方を除外する。

じいじ・ばあばになる方の

孫育て教室

核家族化や少子化が進む現代で、相談もできず、戸惑いながらも育児をしていくパパとママの強力なサポーターとして、今皆様の育児支援が必要とされています。



助産師より沐浴の方法を説明



参加者による実技体験もできます



おしゃれなファイル置き場、ありがとうございました

問 以前、健康診断を受けた時に、近くのトイレに健康診断のファイルを置くポストの設置をお願いした者です。本日、トイレを利用したら、とってもおしゃれなファイル置き場ができていました。ありがとうございました。

答 今後も利用者の立場で、改善をすすめます。ご意見をいただきありがとうございました。

回答者：田中 郁子(健康増進センター課長)

協子ちゃんの

健康マメ知識

第149回

- 超音波 ●

超音波検査とエコー検査は同じですかという質問をよく受けます。

超音波(UltrasoundまたはUltrasonic)の反響(echo)を利用した検査なので、超音波・US・エコーなどとも呼ばれることがあります。

超音波とは人に聞こえない高周波数の音のことで一般的には2万Hz以上のものを言います。超音波の医療への応用は画像診断や顕微鏡、血流計、骨密度測定などの検査目的としての利用や、メス、結石の粉砕等の治療、医療器具の洗浄にも利用されています。画像診断にはX線を利用したいわゆるレントゲンやCT、磁場を利

- 地域支援事業の見直しと合わせた要支援者への給付見直しで、ヘルパーやデイサービスが利用できなくなることも。
- 公的年金関連
 - 法案提出時期の明示はないものの、年金支給額を自動的に削減する「マクロ経済スライド」の毎年実施や、年金の支給開始年齢のさらなる引き上げ、公的年金等控除の縮小による課税強化が検討されている。

いかがでしょうか? これらの内容を見ただけでも、消費税増税により社会保障に関わる給付を良くするどころか私たちの負担増や給付削減になっていることがわかります。当院では引き続きこの問題に警鐘を鳴らし、署名活動や全国組織と共に制度改善の運動を続けていきますので皆様のご協力をお願いいたします。

この教室では最近の子育てについて(産後～1歳頃まで)小児科医・助産師からの話や、座談会を開催していく中で「孫育て」に必要な情報を提供させていただきます。

内容

- ①講義：13:30～14:20
最近の育児について 小児科医師
- ②講義：14:20～14:40
妊娠中から産後1ヶ月頃までの祖父母の関わりについて 助産師
- ③実技：14:40～15:20
沐浴の方法について 助産師
- ④DVD観賞：15:20～16:00
「大切な人」
※間で休憩を挟みます

日時：2014年6月5日(木)
13:00～16:00
場所：A館3階産婦人科外来、うぶ声ルーム
会費：1500円(お支払いは当日です)
ご夫婦での参加の場合は2人で1500円
定員：15名
申込方法：産婦人科外来に直接来ていただくか、電話でお申し込みください。
埼玉協同病院：☎048-296-4771(代)
受付時間：月～金 14:00～17:00

用したMRIなどがありますが、超音波検査では超音波の反響を利用して生体内を画像化します。疾病の発見や治療効果の判定などに用いられます。超音波検査では放射線を使わない、そして装置が小型であることにより、繰り返し検査が可能なことや場所を限定しない等のメリットがあります。



